



## 全国大会に向けた熱い想い

7月15日、たけはら美術館文化創造ホールで全国大会出場者激励会が開かれました。

激励会では、出場者が全国大会に向けた意気込みを語りました。

「日頃の成果を発揮し、精いっぱいがんばりたいです。」（空手道選手権大会出場 岡崎希美さん／竹原中学校1年／竹原錬心会）  
「武道館の雰囲気になれず、正々堂々ががんばりたいです。」（全日本少年剣道錬成

大会出場

倉谷涼次

くん／竹

原小学校

6年／育

誠館道

場）と

いった言

葉から、

大会前の

力強い気



持ちが伝わってきました。

「出場は周りの人達の応援のおかげです。」と話したのは、全国高等学校簿記コンクールに出場する中原亮太くん（竹原高校3年）。自分一人の力だけではなく、周りの支えがあつてがんばれたそうです。

全国高等学校相撲選手権大会に出場する竹原高校1年の上中正嗣くんと大本雄也くんに全国大会での目標を尋ねると、上中くんは、

「まずは一勝すること。そのために生活習慣に気をつけて、万全の状態に臨みたいですね。」

と答えてくれました。また大本くんは、

「チーム一丸となつて一つ一つ勝っていきたいです。そして、下がらず、前に出る相撲をしたいです。」と意気込みを語ってくれました。

みなさんの全国大会への熱い想いが感じられた激励会でした。

## 子どもから大人まで楽しめる 絵本の世界



7月10日、竹原小学校で学校図書館読書の森づくり講座の第1回公開講座が開かれました。講師は絵本作家の宮西達也さん。「おまえうまそうだな」「にゃーご」など、子どもに大人気の数々の絵本を描かれています。

読書の森づくり講座は、計5回の講座で、学校の図書館を学習センター機能をもった魅力的で豊かな環境にしていくためのノウハウを学びます。竹原小学校は、そのモデル校になっています。

公開講座が行われた体育館には、宮西さんのお話を楽しみにした児童や地域の人が多数集まりました。

講座では、宮西さんによる読み語りがありました。登場人物の気持ちを声で表現する宮西さんの読み語りに、5年生の児童からも、「楽しかったです。特に読み方がすごかった。」「読み方に力が入ったりして、面白かったです。」とい

う感想が。いつも読んでいる絵本も、宮西さんの読み語りですらに楽しめたようです。

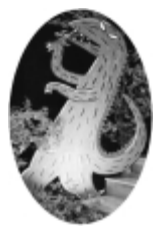
また、宮西さんは、絵本作家になるという夢を実現させた時の喜びを語り、児童に「夢に向かって一生懸命がんばってください」とエールを送りました。そして、「絵本はすべての人が楽しめるもの。ぜひ大人の人も読んでほしい」と話し、一人ひとりの感性によって楽しめる絵本のすばらしさを教えてくれました。

講座終了後、来場した人から、「作品が好きで楽しみにしていた。良い時間を過ごせた。」

「子どもに対して否定の言葉を多く使わないようにという宮西さんのお話にハッとしました。子育ての中で気をつけたい。」

というお話が聞けました。今回の講座が良い機会になったようです。目に見えない感動や勇気を与えてくれる絵本。

しばらく読んでいないという人も、手にとってみてはどうでしょうか。



## 地域の魅力 全国へPR

6月24日、NHK-BS放送「街道てくてく旅」で山陽道の宿場町として栄えた田万里地区が紹介されました。生放送当日、北京五輪・銅メダリストの原田早穂さんを迎え、地域の魅力を全国に発信しました。



## たけはら魚飯まっぷ 発刊

6月19日、広島商船高等専門学校の学生4人が、竹原の食を考える会と協力して「たけはら魚飯まっぷ」を発刊しました。観光案内所や市役所などに置かれているマップを片手に、郷土料理を食べ歩いてみませんか。



## 男と女のあり方を考える

6月28日、市民館で男女共同参画推進講演会が開催されました。男女のあり方を変えるには、イタリアの人を見習って愛を語り合うと良いという森永卓郎さんのユーモアを交えたお話に会場では笑い声が絶えませんでした。



## 七夕飾りで彩られ 今年も開催

7月3・4日、あいふる通りでたけはら七夕まつりが開催されました。通りは子ども達で作った七夕飾りで彩られ、歩く人々が足を止めて、可愛らしい子ども達のお願い事にほほ笑む姿も見られました。



水防訓練



応急救命訓練

## 災害に強いまちづくりを目指して

6月28日、忠海東小学校グラウンドで忠海第1地区自主防災訓練が行われました。当日は地域住民をはじめ、各種団体や警察署・消防署職員など約220人が参加。高潮を想定した水防訓練や、AEDを利用した応急救命訓練など6つの訓練を実施し、他地区から約40名が視察に来るなど、多くの注目を集めました。

忠海第1地区協働のまちづくりネットワークの会長、伊勢本学さんは「この訓練の目的は住民の防災意識の高揚であり、その目的は達成できた。今後は新たな取組みを目指す。」と、災害に強いまちづくりに向けた今後の意気込みを語っていました。



## 的場海岸を美しく

7月5日、的場海岸でリフレッシュ瀬戸内が開かれました。今年度は瀬戸内沿岸の全体拠点地に選ばれた的場海岸。当日は405人ものが海岸清掃のため、集まりました。中には、家族全員で参加したという人も。

たばこの吸殻や花火などのゴミが多かったのですが、子どもから大人までみんなで協力して清掃したので、的場海岸はあっという間にきれいになりました。

清掃活動後は、美しくなった海岸から稚魚を放流。子ども達は元気よく波うち際まで行って、稚魚を海に放流しました。